

木洩れ陽

第36号 平成27年9月30日

発行：大阪府介護者（家族）の会連絡会

〒542-0065 大阪市中央区中寺 1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

TEL 06-6762-9473 FAX 06-6762-9487

◆6月5日総会開催 昨年度に引き続き“居場所づくり”を重点テーマに◆

【第1部：総会】

昨年度の取組みや今年度の事業計画などが報告・承認され、新役員が選出されました。

平成27年度の主な活動については、次のとおりです。

○会の運営

総会（年1回）役員会（年4回）

○全体活動交流会の実施（年1回）

○ブロック別交流会の実施（各ブロック年1回）

○20周年記念講演会

○機関紙の発行、情報の提供（機関紙年2回発行）

○組織強化

○関係機関・団体との連携

○居場所づくりの取り組み視察

◇平成27年度 役員体制 ◇

役職	氏名	所属
会長	田中 まさ子	貝塚市
副会長	戸井 眞弓	河南町
	膳 俊男	高槻市
幹事	登 文子	熊取町
会計監査	山本 ミツエ	門真市
	田中 麗子	富田林市
会計	濱田 悌	島本町

【第2部：講演】

第2部では、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」と題して、NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター代表の沖田裕子さんにご講演いただきました。

講演では、大阪市北区にある若年性認知症デイサービス「かみやま倶楽部」で活動されている当事者やスタッフの方々に、クラリネットの演奏や歌声を披露していただきました。



さらに、「かみやま倶楽部」の方々と参加者皆で「上を向いて歩こう」を歌うことで、会場内に一体感が生まれました。

沖田さんからは、“家族だからこそよくなってほしいという思いが強すぎて、本人の言葉を訂正してしまうこともある”のでそういった時の対応方法や、“介護する家族も趣味や休息など楽しみの時間を持つこと”へのアドバイスなど、実体験をもとにユーモアあふれるお話があり、何度も会場内から笑いが起こりました。

参加者からは、「家族の気持ちを理解してくださっているので分かりやすく勉強になった」「介護中でも自分の時間を大切にすることが参考になった」「楽しみながら学べた」との感想が寄せられ、日頃の介護や会活動にも役立つ講演会となりました。

☆新役員よりごあいさつ☆

【会計監査】山本 ミツエ さん

今回、大阪府介護者（家族）の会の役員に就任し、会計監査を担当することになりました。今年度は介護保険の改正年度であり、会員の皆様にも大きくかかわる改正であると思います。門真市でも、情報を皆様に知ってもらうために勉強会をしていきたいと思っています。

また、認知症になった本人とその家族が安心して生活できる地域づくりのために、見守りのためのネットワーク構築にもこれまで以上に取り組んでいきたいと思っています。



20周年記念講演会



グレー・黄色・白・オレンジ・ピンク・・・
それぞれがイメージする介護の色。

9月18日、大阪歴史博物館で府介護者（家族）の会連絡会発足20周年記念講演会を開催しました。

基調講演では、9年8ヵ月に渡る祖母の介護経験を持つ、介護ジャーナリストの小山朝子さんに『介護を通じて見えるもの～当事者としての想い～』と題して、自らの介護体験等をお話いただきました。

「20代からスタートした介護。『在宅』ではどう対応してよいか分からず、喜び・落胆しながら年月を重ね、祖母の想いに寄り添って仕事と介護を日常化してきた。そんなある日、祖母の、自分は愛されているんだ」と感じてくれているような表情を見た時に、在宅介護を決断してよかったと思えた。相手の感情が自分の感覚の様にわかるという体験ができたのは、介護をしたからこそ」と話されました。

さらに、「介護のイメージってどんな色？」の問いかけに、会場からはそれぞれが介護体験を思い出し、そのイメージの色を共有して想いに共感する場面も。

最後に、小山さんは「諦めるというのは明らかに極めるということ。私は介護をするために色々なことを諦めてきたが、今では“介護を極める”ために諦めたと思っている。みなさまもご家族の介護を極められたエキスパートですね」と敬意を表し、介護者（家族）に寄り添った温かい講演会となりました。

また、各会のみなさまにご協力いただき作成した、活動紹介～介護者（家族）の会連絡会ってなにしてるの？わたしたちの歩みと想い～20年の歩みDVDの上映もあり、涙される方もおられ、参加者それぞれがこれまでの取り組みを振り返り、これからの5年10年先を考える時間となりました。

活動紹介パネル・写真の展示コーナーも、たくさんの方が足を運ばれ、記念撮影をされる方もおり賑わいをみせていました。



活動紹介パネル・写真の展示コーナー

◇会員活動紹介◇

【島本介護者家族の会】 介護をささえる介護者の会です

私たち島本町の介護者家族の会は、介護に悩まれている方と介護経験豊かな方達が、一緒になって考え共に明るい心豊かな生活が送っていける、介護をささえる介護者の会でありたいと活動しています。

会の活動としては毎月一回「介護ひといきサロン」を開いています。日ごろ介護に追われている方に、サロンに来て文字通りひといきついでにいただく時間です。日頃の悩みを相談したりアドバイスをもらったり、おうちで出来る簡単なリフレッシュ体操の講習会や施設見学にも行き、年末近くにはクリスマス会をしています。

そして、リフレッシュ事業として年に一度日帰りバスツアーにも行きます。

年々介護者が増える時代、介護に悩まれている方達が“ここには分かりあえる仲間がいる”と安心して集える会でありたいと思っています。



”介護ひといきサロン”の様子

【熊取町介護者（家族）の会】 会員同志の支え合いを大事にしております

泉州ブロックの中で唯一海に面していない町で人口は約4万4千人です。24年前介護困難解消をめざして有能な先輩たちが創立しました。20年前に社協に属することになり期待と安心の中で会の発展に努力して参りました。

介護保険の導入は大きな力になりました。[なげき][苦しみ]は解消しはじめ、それに伴い介護施設の特徴を話し合う場という会の機能が加わりました。要介護者にとって適切な施設を選んで利用するようになり、利用者の幸福度がアップしたと思います。

現在の問題は、介護保険を利用しようとせず介護者に負担をかけ自分も認知症の悪化に苦しむ方たちと、新オレンジプランの導入によりケアが変わる約600人の要支援の方たちの将来です。

会では熊取町内だけでなく、泉佐野市と田尻町に以前あった介護者の会の復活を願い、泉州ブロック内の会と手をつないでの活動もしています。

町を歩くと住宅地の傍らに溜池やすすく稲が育つ田んぼがあり、四季の風景にも恵まれており介護で疲れた気持ちを和らげてくれます。



近場の犬鳴温泉でリフレッシュ

情報コーナー

♪ ブロック交流会のおしらせ ♪

北摂：平成27年11月10日(火)

河北：平成27年12月4日(金)

河南：平成28年2月26日(金) 予定

泉州：平成27年11月30日(月) 予定

※詳細はブロックごとにご案内いたします。



遠距離介護セミナー

その施設、親にとってあなたにとって安心？安全？

(一般財団法人住友生命福祉文化財団、NPO法人パオッコ)

日時：平成27年10月18日(日) 13:00~16:30

会場：「コンベンションルームAP梅田大阪」大阪市北区曽根崎新地2-3-21 axビル4階

定員：100人(先着順) 参加費：無料

内容：**第一部** 「メディアが取り上げない身近な‘落とし穴’とは？」

第二部 お悩み軽減！遠距離介護アドバイストーク

申込：電話) 03-5840-9930 FAX) 03-4496-6355 HP) <http://paokko.org/>

※詳細は各会へ配布しているチラシをご覧ください。

人間ドックを受診して…気持ちをお聞かせください！！

一般財団法人 住友生命福祉文化財団様は、平成21年10月から社会貢献の一環として、“介護する人への住友生命総合健診システム(人間ドック)”での優遇受診にご協力して下さっています。

これまでのご協力に感謝の気持ちを伝えたく、本システムをご利用になられての想いや感謝の言葉をお聞かせくださいますようご協力をお願いいたします。

提出先・・・大阪府社協事務局まで (FAX: 06-6762-9487)